

9月定例会

議案ピックアップ

- ◆市長提出議案……………25件
- ◆請願……………2件
- ◆議員提出議案……………1件

全ての議案の審査結果
は市議会ホームページ
をご覧ください。



9月定例会が、9月10日～10月2日までの23日間の会期で開かれました。

一般質問では11名の議員がそれぞれ市の考えを質しました。

市長提出議案25件（うち人事案件4件）のうち、令和6年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定等については、決算審査特別委員会を設置し、詳細な審査の後、最終日の本会議で認定及び可決されました。（4～7ページ）

また、補正予算や条例の一部改正などについて、いずれも原案のとおり可決及び同意されました。また、議案案として「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」が賛成多数で可決されました。

このページでは、一部の提出議案の内容について解説をしたいと思います。審議内容等については、10～11ページをご覧ください。

◇主な提出議案

● 議案第89号 白河市印鑑条例の一部を改正する条例

改正の理由

性同一性障がい等の性的マイノリティに配慮し、印鑑登録原票及び印鑑登録証明書の男女の性別表記を廃止するため、自治体情報システムの標準化への移行に併せて、所要の改正を行うものです。

● 議案第90号 白河市介護保険条例の一部を改正する条例

改正の理由

介護保険法第115条の49に基づく保健福祉事業として、昨今の燃料費高騰や人員不足などに加え、昨年の介護報酬の引き下げにより更なる打撃を受けている訪問介護事業を対象とした支援金助成事業を緊急的に実施するにあたり、現行の条例では保健福祉事業の規定がないことから、所要の改正を行うものです。

● 議案第91号 白河市水道事業給水条例の一部を改正する条例

改正の理由

令和6年能登半島地震では、個人宅内の給排水に係る配管の破損が多数発生したことに加えて、給水装置工事事業者自身の被災や工事需要の集中等により、事業者の確保が困難な状況となり、結果として宅内配管の復旧が遅れ、家庭で水が使用できない状況が長期化しました。このことから、災害やその他非常の場合において、地元の給水装置工事事業者の確保が困難であると判断される場合は、宅内配管の復旧に対する業者を確保する必要があるため、所要の改正を行うものです。

● 議案第101号 令和7年度白河市一般会計補正予算（第3号）

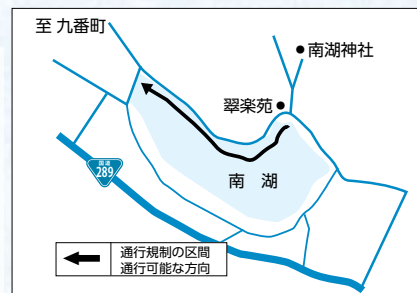
◇ 主な内容

◎ 南湖政策事業 295万8千円

新規 南湖北岸道路一方通行化事業

実証実験結果を踏まえ、北岸道路の車両一方通行規制を導入するため、安全対策の整備を実施するものです。

【外側線設置 規制標識設置 路面標記（矢印、文字）設置など】



◎ 農業振興対策事業

・担い手づくり総合支援事業 145万3千円

国の交付金を活用し、地域の担い手を支援するため、経営の発展に必要な機械導入費用を補助するものです。

・財政調整基金積立金 13億円

将来にわたる財源の不均衡や予期せぬ支出（大規模災害、税収減など）に備え、財政運営の安定化を図るために積み立てておく貯金です。

・住みよい街づくり事業 1億3,000万円

・緊急自然災害防止対策事業 6,800万円

（一般会計補正額合計 25億9,413万5千円）

● 議案第105号 令和7年度白河市介護保険特別会計補正予算（第1号）

◎ 介護事業所支援事業 630万円

新規 訪問介護事業所緊急支援事業

経営に深刻な影響を受けている訪問介護事業所への支援とともに、事業効率化により訪問介護を利用できていない方へのサービス誘導を図るものです。

対象事業所

- ① 訪問介護事業所から直線距離で5km以上離れた場所でのサービス提供→1回あたり500円
- ② ①に該当し、かつ新規または回数を増やしてサービスを行う場合は上乗せ→1回あたり3,500円

人事案件

○ 議案第108号 白河市監査委員の選任について

白河市監査委員 室井伸一（登り町・新任）

任 期 1年9か月 令和7年10月2日から令和9年7月8日

○ 議案第109～111号 人権擁護委員の候補者の推薦について

人権擁護委員 酒井智子（巡り矢・再任）

沼田浩一（表郷金山・再任）

橋本 薫（大信下小屋・新任）

任 期 3年 令和8年1月1日から令和10年12月31日

同意



人権擁護委員とは、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したりして、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるよう啓発活動をしています。